

グリーンアルファ

令和6年10月1日発行

第138号

トラスト3号地（嵐山町）



人と森林の未来を

地球環境上最も深刻な問題は、気候変動と生物多様性の損失だと思います。

その原因は人間の活動による温室効果ガスの排出や自然破壊などがあります。この問題解決には、「カーボンニュートラル」（温室効果ガスの排出量から吸収量を差し引いた合計をゼロにする）と「ネイチャーポジティブ」（生物多様性の損失を止め、回復軌道に乗せる）と「サーキュラーエコノミー」（循環経済）の実現に全世界が一体となり取り組むことが必要になっています。

これらの対策のひとつが私たちの取り組んでいるトラスト地の保全活動での森林再生です。森林は二酸化炭素を吸収すると同時に生物の居場所を提供しているのです。

しかし、保全活動にも課題があります。ボランティアスタッフの高齢化や担い手不足、各種害虫（カシノナガキクイムシ・クビアカツヤカミキリなど）被害とその対策による森林枯死化です。

例として、トラスト保全第13号地の竹林に同居しているコナラの樹木をナラ枯れのため伐採して搬出後根株を農薬で燻蒸処理した結果、竹の地下茎が薬にやられてタケノコが取れなくなりました。この土壌の改良に近隣の高校生の応援も借りてトラスト地内の落葉を集め被害地の上に敷き、3年間かけてようやくタケノコが取れるようになりました。これで子供達のタケノコ掘りイベントもまた盛り上

がります。

また、ナラ枯れで伐採したコナラの木を製材所で板に加工してもらって、ボランティアスタッフや園内を散策する方の休憩場のベンチ等にも活用しました。散策者からも大変好評です。若い方は、竹林を背景にペットと家族写真を撮ってインスタグラムへ投稿しています。撮影者に聞くと、この竹林はよく整備されており京都の竹林と同じように綺麗だということです。

しかし、「カーボンニュートラル」や「ネイチャーポジティブ」と「サーキュラーエコノミー」への取組はこれで充分とは思ってはいません。本格的に進めるためには、樹齢約50年以上の老木を伐採して森林の若返りを図る必要があります。それには多くの資金が必要です。基金でやるか、寄附金を集めてやるか等の検討が今求められているのです。

そして、森林で二酸化炭素を吸収し、生きものの居場所を確保し、森林から生まれる資源を循環する仕組みづくりを進めることが最も重要です。森林は、気候緩和機能、生物多様性の維持回復機能等地球にとって大変重要な多面的機能を持っています。人が森に親しみを実感して地球環境問題を自分事と捉えていけるよう、今後も一緒に頑張りましょう。

（公財）さいたま緑のトラスト協会
評議員 安田 信一

イベントのお知らせ

会員の集い

11月16日(土)

場所 埼玉会館 2F ラウンジ

(さいたま市浦和区高砂3-1-4
JR浦和駅西口から徒歩6分)



会員の集い ▶ 協会員 無料
交流会 ▶ 1人 500円

申込 締切11/7 (木) までに、電話で協会事務局までお申込みください。

- ▶ 9:50~10:40
講義「トラスト保全活動はSDGsにどの様に関連付けられるか」
副理事長 牧野 彰吾
(NPO 法人埼玉県絶滅危惧植物種調査団代表理事)
- ▶ 10:50~11:40
講義「埼玉の森林の現状と森林保全」
理事 安井 敏晃
(元埼玉県農林総合研究センター森林・緑化研究所長)
- ▶ 13:20~14:50
講話「(仮題) 持続可能な社会での森の役割」
理事長 太田 猛彦 (東京大学名誉教授)
- ▶ 15:30~16:30
交流会 (軽食とお茶を用意してます)

トラスト地の自然素材を使った 大人のクラフト体験教室

クリスマスリース 11月20日(水)
9時30分~11時30分

竹細工 11月27日(水)
9時30分~12時

場所 埼玉教育会館 104号室
さいたま市浦和区高砂 3-12-24



協会員 各 100円
一般 クリスマスリース 800円
竹細工 500円

各教室10人申込順 締切11/13(水)

対象 15歳以上



竹の伐採体験

12月7日(土) 9時~12時
(雨天中止)

無料

集合場所 見沼田圃周辺斜面林(トラスト1号地)
あずまや

30人申込順 締切12/3(火)

▶ 伐採した竹は持ち帰り可能です。また、竹を使った道具作りも体験できます。



トラスト7号地と 綾瀬川周辺の冬鳥を探そう

12月8日(日) 9時~12時
(雨天中止)

集合場所 下記の2つから選択

- ① JR宇都宮線「蓮田駅」東口 8時30分
 - ② 小川原家屋敷林(トラスト7号地) 9時
- ①は徒歩で②まで移動します。(徒歩約20~25分)
※周遊後は、アーバンみらい公園で解散します。

協会員 無料 一般 300円

30人申込順 締切12/3(火)

▶ カモ類をはじめ、大陸から日本に渡ってきた冬鳥が見られます。



ミニ門松作り

12月15日(日) 10時~12時

集合場所 サンアメニティ北本キャンプフィールド
(北本市野外活動センター)

協会員 100円 一般 300円

30人申込順 締切12/10(火)

対象 小学校5年生以上
(小学生は保護者同伴)



- ▶ 竹林の見学後に、ご自宅で飾れるミニ門松を作ります。
- ▶ 上記参加費とは別に、ミニ門松1基につき 500円で持ち帰り出来ます。

【対象】 イベントごとにご確認願います。小学生以下の参加は保護者が同伴してください。

【持ち物・服装】 <共通> 筆記用具、飲み物、長袖、長ズボン、活動しやすい服装・靴で御参加ください。

<自然・野鳥観察会> 双眼鏡などの観察用具、雨具、帽子

<伐採体験> 軍手、作業靴、帽子 <クラフト工作> 軍手

【申込】 トラスト協会事務局まで Web 又はお電話にてお申し込みください。

申し込みはこちら▶

各イベント等の詳しい説明は、
ホームページをご覧ください。



トラスト保全
5号地



保全地紀行 秋 山崎山の雑木林

町民憩いの雑木林



アカシデの紅葉

イヌシデの紅葉



イヌシデの果穂



作業後豚汁を楽しむ



ピザづくりを楽しむ
トラスト祭り

東武動物公園駅を降り、宮代町役場前を通り東武動物公園と町立笠原小学校の間の道を抜けると農業公園の「新しい村」に着きます。5号地は、この場所に接して駅から徒歩15分の所にあります。地形的には、大宮台地の東北部にあたり、江戸時代笠原沼を新田開発された「ホツツケ田」の縁辺に雑木林を形成しています。

5号地の樹種のベストスリーは、1 イヌシデ、2 アカシデ、3 シラカシです。目通り直径10cm以上の樹木を合わせて300本を超えます。クヌギ、コナラは30本以下です。元の地主が造林していたスギ・ヒノキ林もあります。中木のネズミモチやヒサカキが群落する場所もあります。多様な植物・樹種があると多種の昆虫や鳥が集まります。憩いの場所として人間も集まる場所となるよう願っています。

5号地ボランティアスタッフ

代表 茂木 俊二

トラスト

昆虫

金目トンボ

19

トンボ目トンボ科

アキアカネ (Sympetrum frequens)



塘 久夫

5号地ボランティアスタッフ。小さい時から昆虫大好きで野山を駆け回っていました。今は小さい子供たちと一緒にトラスト地で昆虫を追いかけています。

♪夕焼け小焼けの赤とんぼ、負われて見たのはいつの日か♪ 童謡赤とんぼの歌いだしの一節に謳われる赤とんぼはアキアカネのことだと言われています。秋になると見られるようになる日本の秋を象徴するトンボですが、秋になって羽化するわけではありません。このトンボが羽化を始めるのは6月中旬。前年から田んぼの土中で冬を越したアキアカネの卵は、田植えで田に水が入り始めると孵化してヤゴになります。そして水田の中で成長して6月中旬には羽化をして成虫になります。しかし羽化してすぐに、一斉に山の方へ移動して里からは姿を消してしまいます。夏の暑さに弱いため、一時的に涼しい山の上へ移動するのです。山の別荘に避暑に行くみたいです。秋になって里が涼しくなってくると山から大群で里帰りをして水田の回りを多数で飛び回ります。



晩秋のアキアカネ

稲刈りを終えた田んぼの上を飛び回り、時として雌雄がつながったまま湿った田んぼの土の上に産卵する姿もよく目にします。このようにアキアカネは稲作農業と共に繁栄してきた人と仲良しのトンボで、秋の風物詩として多くの人々に親しまれてきました。黒浜沼では毎年秋に赤とんぼの観察会が行われます。今年はもう終わってしまいましたが来年は参加してみてもいいかもしれません。

(塘 久夫)



第25回 さいたま緑のトラスト 写真・動画コンクール 作品募集

埼玉県には、武蔵野の面影を残す雑木林や見沼田圃のような首都圏にあって潤いとゆとりのある空間が数多く残っています。県では、こうした優れた自然や貴重な歴史的環境を末永く保全し、次世代に残していくため、さいたま緑のトラスト運動を推進しています。

この運動をより多くの県民の皆さまに知っていただき、緑への理解と関心を深めるため、「第25回さいたま緑のトラスト写真・動画コンクール」を開催します。

写真は、Instagramからでも「#緑のトラストフォト2024」を付けて投稿すれば応募していただけます！

皆さまが次世代に残したいと思う緑豊かな自然を写真や動画を通じてシェアしませんか？

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0508/25trust.html>



ご報告

「自然観察体験&クラフト体験 みよし自然体験教室」開催

令和6年7月6日（土）、三芳町と共催で地元のボランティア団体のご協力のもと、森の観察会やクラフト工作・丸太切り・スラックライン体験がトラスト保全第14号地で行われました。参加者は21名。ボランティアスタッフの皆さんは材料の事前準備から、作り方や遊びかたの指導に大忙しでした。参加者は大人も子供も皆さん楽しんで頂けました。



ご報告

KDDI北関東総支社様への感謝状贈呈

日時：令和6年9月17日（火） 場所：トラスト協会事務局

今年度もご寄附をいただき、ありがとうございました。

同社の社会貢献プロジェクトでの積立金による寄附は9回目になります。ご厚意は、自然環境を守る保全活動の原資として有効に使わせていただきます。

また、年3回、社員の皆様にはトラスト保全第13号地（無線山・KDDIの森）でボランティアスタッフと共同の保全活動を行っていただき感謝しております。

（公財）さいたま緑のトラスト協会 副理事長 牧野 彰吾（談）



KDDI 北関東総支社
総支社長 大可 昌明 様（左）
当協会 牧野副理事長（右）



さいたま緑のトラスト基金への大口寄附者
（10万円以上、令和6年6月から8月）

株式会社 中村工業所
ダイワ包材株式会社
石坂産業株式会社
キャピタル・インターナショナル株式会社
横田建設株式会社
三協測量設計株式会社
株式会社 細田管工

株式会社 丸栄
株式会社 マツナガ

〔敬称略〕



さいたま緑のトラスト協会への大口寄附者
（5万円以上、令和6年6月から8月）

KDDI 株式会社
他匿名希望1個人

〔敬称略〕



新しく会員になられた方々
（令和6年6月から8月）

【個人】13人（うち永年5人）
【家族】2家族（5人）

〔敬称略〕

〔敬称略〕

<会員数（8月末現在）> 1,375人・団体



公益財団法人 さいたま緑のトラスト協会
〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-12-9 埼玉県農林会館内
電話▶ 048(824)3661 ファックス▶ 048(832)0292
ホームページ▶ <http://www.saitama-greenerytrust.com>
メール▶ main@saitama-greenerytrust.com
当協会に御寄附をいただいた方については、税額控除の特典を受けられます。
詳しくはHP又は税務署へお尋ねください。

トラスト運動に御支援いただきありがとうございます。

●会費年額

個人	大人	1人	1,500円
	小・中・高校生 就学（一学期入）	1人	1,000円
家族	1家族	3,000円	
	1口	10,000円	

